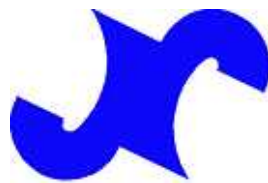


平成 1 9 年度

事業報告書並びに収支決算書
(概要)

自 平成 1 9 年 4 月 1 日

至 平成 2 0 年 3 月 3 1 日



新津商工会議所

総括的概要

総括的概要

1 , 日本経済等の状況

平成19年度(昨年4月～今年3月)の日本経済について、概括すれば、経済のグローバル化に伴う企業の輸出や設備投資活動の活発化により、景気は回復・拡大路線を辿りました。しかし、その基調も、昨年後半には変調を来しています。原油・原材料価格の急騰やサブプライムローン問題によるアメリカ経済の減速に、円高の影響も加わり、日本経済は陰りがみえ、景気減速が明確になっている様に見受けられます。原油・原材料価格の高騰は好調な企業部門を牽引してきた自動車、鉄鋼などの有力企業の収益をも圧迫しています。平成20年の日本経済は景気回復が一時的に停滞する「踊り場」に入るのではないかと危惧されます。

安倍内閣の後を受けて、昨年9月に発足した福田内閣は、与野党の勢力が衆議院・参議院で異なるネジレ国会の中で混乱が続き、円滑な政治運営が行われていません。医療や年金、道路財源問題等で内閣の支持率も低下しております。早期に与野党と協力・協調して国民本位の政治運営を行い、温暖化や物価上昇問題など山積する難題の解決と低迷傾向にある経済の上昇・安定に努めてもらいたいものです。

2 , 新潟県の経済等

新潟県の経済は、地域間のバラツキはあるものの全国水準並みに推移していましたが、昨年後半からの公共投資の減少や原油・原材料高の影響、競争激化による売上不振等から陰りが見えています。県内上場企業の20年2、3月期決算では、6割近くの企業(機械メーカー、暖房機器など)が、原材料高騰や急激な円高により経常減益となっていることが認められます。20年度の県内経済の先行きについては、不透明感が一層増すことが予想されます。

一方、昨年7月に発生した中越沖地震は、柏崎を中心に広範囲にわたり大きな被害を与えました。今回の地震は東京電力柏崎刈羽原子力発電所の被害が大きく、原発がらみの風評被害も重なり、地震に無関係の佐渡や村上等まで観光客の減少を来すなど、県内の観光面にも大きな影響を与えました。

また、新潟県は高齢化や若者の流出が著しく県内人口も240万人の大台を割るなど、人口減少に歯止めがかかりません。このままで推移すれば、大県新潟の優位性が失われ、活力の低下が危惧されます。引続き泉田知事の積極的な県政運営により県民力の向上を期待したいと思います。

3 , 新津地域の経済等

新津地域の経済については、中央や県内の有力産地等の好況感とはほど遠く、19年度は依然として厳しさが続きました。製造業が少なく、建設・商業・サービス業などに依存している割合が高いために不況感すら感じて来ました。当会議所が実施している直近の「新津地域中小企業景況調査」でも、ほとんどの企業で売上高や採算、資金繰りが悪化していることが認められます。景気判

断指標の一つである雇用状況でも、新津職安管内の有効求人倍率は、新潟県の平均の1前後を数ヶ月間大幅に下回っており（直近の20年3月では0.7）不況色が強いことが窺われます。また、昨年末頃から当会議所会員の不況による廃業退会が続いております。これなどは今までになかった現象です。

商店街でも、地域内の大型店との競合が一層激化しているほか、亀田、旧新潟市の大型店やデパートへのショッピング流出も激しく、衰退化が顕著で先行きは非常に厳しい状況にあります。特に、昨年10月末に開店した亀田のイオン南ショッピングセンターの影響は大きく、同店開店当初は新津の既存大型店でさえも15～17%の売上げ減少を来たしました。疲弊している商店街をいかに元気にするかが課題で、会議所としても暗中模索しながら努力して行きたいと思っております。

4、政令市の誕生と秋葉区の状況及び当会議所の役割

昨年4月に、8つの区からなる人口81万人の政令指定都市新潟市が誕生しましたが、秋葉区の中の新津地域（旧新津市）は経済面から見ると、期待して交流人口の増加や「賑わい」の創出も実現せず、政令市効果は具体的に表れておりません。定住人口の増加はあるものの、むしろ、秋葉区は、総ての面（人、もの、金）で、旧新潟市に吸引されるなど、旧新津市時代より活力が低下しているのではないかとさえ感じています。それに不況の風が一層追い打ちをかけています。

政令市は順調にスタートを切った様ですが、イベント等が目白押しで益々賑わいを見せる旧新潟市と、その他の地域の格差が明確になっている様に見受けられます。特に、旧新潟市は中心市街地の活性化のために、新潟商工会議所と新潟市等で「中心市街地活性化協議会」を設置し、国の補助金を使ってのハード面を含めた「新しいまちづくり」（古町、万代、新潟駅前地域）を進めております。新津地域は「中心市街地活性化協議会」の設置すら出来ない状況にあり、旧新津市中心商店街の混迷は深まるばかりです。

新津商工会議所でも、県のほか、新潟市本庁や秋葉区役所などに政策や要望活動を積極的に行っておりますが、厳しい状況にあります。特に、合併建設計画の中でうたっている旧新津市内の文化会館の候補用地確保については、新潟市などの関係先に対して最適地の早期確保について要望しましたが、実現出来ず残念な結果に終わりました。

政令市効果が具体的に見えていない状況の中で、新津地域の中心市街地の活性化とからめたハード事業についても、是非とも考慮して頂きたいと思っております。政令市は旧新潟市を中心に発展する必要性は認めますが、構成する区全体のレベルアップも必要不可欠なことと思われれます。行政からも、積極的に支援・協力をして頂き、8区の均衡ある発展・繁栄があってこそ、政令指定都市新潟市の将来は安定し、益々輝くものとなり、百万都市への発展の道に繋がるものになると考えます。そのために、当会議所も引続き出来る限りの協力をして参ります。

4、19年度の当商工会議所の対応と事業等

（1）当会議所の対応と特記事項

上記経済状況や会議所を取巻く厳しい環境の中で、当会議所では、*県・市の

補助金の削減の下での財政基盤の確立、* 会員の支援（サービス）の徹底、* 商店街の活性化、* 会議所の組織力の強化等に入力して、それなりの成果を収めることが出来ました。（主要事業の概況は下記）

一方、地域の活性化や「まち起こし」にも力をいれるために、経済活性化委員会（環境美化、食、商店街活性化の3つのプロジェクトで検討）や産学官連携協議会を立ち上げ、各種活動の検討と具体化の推進に努めました。その具体的な活動の主なものが、昨年6月の新津の県立植物園での「花の国際見本市」開催を機に、新津の花と食を売ろうとして企画した「にいつ食の陣」と、地元の食材（カキノモト）を使った新商品「花茶漬け」の開発であります。これらの活動が、些かなりとも地域起こしの起爆剤に繋がったものと思っております。この活動は20年度も継続して行う予定にしております。

特記事項としては、昨年10月末に役員・議員の改選期が来ましたので、事前に準備を進めて改選手続きを円滑に推進しました。その結果、馬場会頭、北本・古川副会頭が再選されました。空席になっていたもう一人の副会頭も、20年3月末に春日常議員が副会頭に昇格し、これで新体制が整い新たにスタートを切りました。常議員、監事、議員についても、補充も含めた改選手続きを無事終了しました。

（2）19年度の事業概況（成果と反省）

19年度の事業については、事業計画書に基づき着実に実施しました。最初に、昨年度の主要事業について記述します。（詳細については後述）

主要事業の概要について

財政基盤の強化と健全化

- ・国の財政状況の逼迫を背景に、県、市の補助金の削減の中で、当会議所は自助努力で財政基盤の強化と健全化に努めた。
- ・具体的活動としては、新規会員の増強に努めて会費収入の増収を図るとともに、アクサ生命や県火災共済との連携を一層深めて共済事業を積極的に推進し、手数料収入の増加を図った。共済事業は予定通りの成果を上げたが、会員増強については、不況の影響もあり廃業等による退会者が多く、残念ながら予定通りの成果を上げることが出来なかった。
- ・新しい補助事業として、ジャパブランド育成支援事業に取り組み、当地域の花産業の育成、拡大（地域ブランドの創出）を図るとともに財政基盤の強化に努めた。

会員サービスの徹底と強化

- ・「会議所は会員より成り立っている」という会議所の原点に立ち返って多様化、高度化する会員ニーズに的確に応えるために会員サービス（支援）を強化、徹底した。
- ・具体的には、中小企業相談所長と4人の経営指導員により、経営、金融、労務、税務等のあらゆる相談業務にきめ細かに対応するとともに、適時、適切に講師を招き、セミナー、講演会事業に力を入れた。特に、経営革新塾にはやる気のある多くの会員が参加し好評を博した。その後も、塾参加者による勉強会を立上げて独自に自己研鑽に努めている。
- ・また、当会議所の目玉事業であるIT化事業にも積極的に取組み、ホームページ

ジの作成支援、IT化個別相談支援などに、顕著な成果を上げることが出来た。

商店街活性化の支援

- ・地域内外の大型店と中心商店街との競争が一層激化し、中心商店街の個店の衰退化に拍車がかかる中で、当会議所は補助金やイベント等を通じて引続き支援活動を展開した。また、空き店舗を使った「まちの駅ぽっぽ」事業を展開し、年間2万人余の市民から利用され、商店街の活性化に寄与した。
- ・また、地域内外の交流人口を増やし、来街者で賑わう中心市街地を実現するために、ソフト事業を中心に「まちづくり」、「まち起こし」を支援した。具体的活動としては、「にいつ食の陣」の開催や「街なかガーデニング」事業を展開した。新津の食と花を訴求することによって、多少とも「まち起こし」に寄与出来たと思われる。

地域密着活動の継続、強化

- ・19年4月からの政令市の中の「秋葉区」のスタートを契機に、当会議所は行政の役割を一層サポートするケースが増え、地域とともに歩む会議所、行動する会議所として諸活動を推進した。
- ・具体的な主な活動としては、新潟薬科大学関連活動の継続（薬大・バイオリサーチパーク・新潟市・会議所による四者協議会、交流会の実施）、薬大・経済界（JAも協力）・市による産学官連携協議会の立ち上げによる地元食材を使った新商品の開発、市よりの指定管理者受託による市内3箇所の駐車場の管理運営、などを行い地域の各階層との関わり合いを深めた。

新潟県、新潟市等への積極的な意見要望活動の展開

- ・当会議所の補助金の要望をはじめ、「新津地域のまちづくり、まち起こし」、商工業の振興、商店街の活性化、地域開発促進などのために、新潟県（新潟県商工会議所連合会を通じて）や新潟市本庁・秋葉区などに、適時、適切な建議、要望活動を行った。（詳細は別紙後述のとおり）

（3）19年度の決算について

収支決算書は別紙の通りであります。19年度の予算執行に当たっては、予算案に従い、確実に、かつ効果的に使用させて頂きました。しかし、県、市の補助金が予定額を下回ったこともあり、予算よりも支出増となった事業もありました。特に、まち起こしのために実施しました「にいつ食の陣」の費用については、会議所が全額支出することになりました。

補助金事業は、国、日商（労働時間等設定改善事業、シャパンブランド育成支援事業）分についても、コンプライアンスの徹底に努め、予算案通り執行させて頂きました。

平成19年度収支決算書（各会計目的分類別総括表）

勤労者福祉共済特別会計を除く

収入の部

(単位：千円)

科 目		会 計 別				合 計
		一般会計	収益事業	中小企業相談所	法定台帳	
1	会 費	23,273				23,273
2	特定商工業者負担金				487	487
3	会館運営費収入		3,318			3,318
4	事業収入	13,684		4,043		17,727
5	共済事業収入		37,278			37,278
6	労働保険事業収入		4,275			4,275
7	交付金	25,925		38,303		64,228
8	IT化推進事業収入		2,092			2,092
9	雑収入	349	271	21	1	642
10	勤労者福祉共済会計繰入金	3,200				3,200
11	(積立金取崩収入)					(0)
12	(繰入金)			(17,000)	(100)	(17,100)
13	繰越金	415	253	293	18	979
合 計		66,847	47,489	59,661	607	174,604
経常収入 = () を除く合計		66,847	47,489	42,661	507	157,504

支出の部

科 目		会 計 別				合 計
		一般会計	収益事業	中小企業相談所	法定台帳	
1	一般事業費	31,910		3,506		35,416
2	会館維持費		4,890			4,890
3	共済事業費		2,793			2,793
4	労働保険事業費		300			300
5	IT化推進事業費		175			175
6	人件費	8,349	19,093	52,684	480	80,606
7	(退職金)					
8	管理費	7,914	12,506	1,040	104	21,564
9	(繰出金)	(17,100)				(17,100)
10	(臨時支出金)	(0)				(0)
11	経常支出金	240	735	2,051		3,026
12	積立金	1,100	6,700			7,800
13	収支剰余金	233	292	379	22	926
合 計		66,847	47,489	59,661	607	174,604
経常支出 = () を除く合計		49,747	47,489	59,661	607	157,504

目的分類によって人件費は各会計とも事業費及び管理費等から組み替えをしている。

勤労者福祉共済事業実績報告

年 月 日	事 業 実 施 名 等	内 容 等
19 . 4 . 1	会員数 1,007名 加入企業数 160社	
4 . 10	平成19年度小学・中学校 63名支給 入学祝金支給開始	
4 . 22	サントピアワールド施設利用割引開始 施設利用割引券配布 191名利用 利用割引券配布 秋葉温泉 花水 55名利用	利用期間：平成19年4月29日～ 平成19年11月30日（全会員） 利用期間：平成19年4月29日～ 平成19年3月31日（全会員）
7 . 20	海の家利用割引契約開始 海の家利用割引券配布 133名利用	利用期間：7月20日～8 月31日、瀬波・紫雲寺・ 新潟・越前・角田・寺泊 各海水浴場（全会員）
9 . 4～9 . 7	定期健康診断補助 84名	(社)新潟県健康管理協会
9 . 8	共済の集いに共催	新潟グランドホテルビアパーティー
20 . 3 . 18	共済会報第42号発行、配布	1,100部作成（全会員へ配布）
3 . 20	平成20年度小学・中学校入学祝金及び永年勤 続ほう賞金給付案内通知	
3 . 31	1. 給付金支給状況 1. 入学祝金 63名 2. 結婚祝金 11名 3. 出産祝金 10名 4. 銀婚祝金 7名 5. 永年勤続ほう賞金 121名 6. 傷病見舞金 24名 7. 障害見舞金 0名 8. 死亡弔慰金 10名 9. 住宅災害（一部焼） 0名 2. 保養所等施設利用状況 1. 宿泊補助 0名 3. 会員加入状況 1. 新規加入企業数 1社 2. 退会企業数 6社 4. 年度末会員状況 1. 加入企業数 155社 2. 会員数 951名	

平成19年度勤労者福祉共済特別会計収支予算書

収入の部

(単位：円)

科 目		決 算 額	予 算 額	比較増減
1	事 業 収 入	3,559,373	3,700,000	140,627
2	交 付 金	3,800,000	3,800,000	0
3	基金積立金取崩収入	0	1,300,000	1,300,000
4	雑 収 入	9,643	5,000	4,643
5	繰 越 金	299,884	265,000	34,884
合 計		7,668,900	9,070,000	1,401,100

支出の部

科 目		決 算 額	予 算 額	比較増減
1	事 業 費	2,865,900	3,560,000	694,100
2	人 件 費	3,200,000	3,200,000	0
3	管 理 費	939,193	1,080,000	140,807
4	積 立 金	300,000	1,000,000	700,000
5	予 備 費	0	230,000	230,000
支 出 合 計		7,305,093	9,070,000	1,764,907
収 支 剰 余 金		363,807	0	363,807
合 計		7,668,900	9,070,000	1,401,100